

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804124

案件番号 :1884545

主分野課題 :運輸交通/運輸交通行政

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

途上国における急速な道路交通量の増加により、特に都市部において、道路交通の容量の拡充や安全性の向上が急務となっている。ITSの導入により、リアルタイム情報を活用した道路資産の効率的な利用あるいは安全性の向上といったニーズが高まっている。本件はITSの実務的な知識・技術習得し、導入計画の策定を目的に研修を実施するものである。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

ITSの実務的な知識・技術が習得され、帰国後に知識・策定した導入計画が共有される。

【対象組織】
行政組織

【成果】

1. ITSの概念、関連する技術を理解する
2. ITS導入に必要となる行政の役割を理解する
3. 自国に適用可能な本邦ITS技術を特定し導入計画が提案される
4. 上記3. で作成された導入計画が自国の関係者に共有される

【対象人材】

1. ITS導入に関する実務に従事する行政官
2. 道路及び交通分野の業務に5年以上従事していること
3. 理工系の大学卒もしくは同等以上の学歴
4. 十分な英語力を有していること
5. 10年程度同じ分野で業務を担当することが想定されている人
6. 年齢は50歳まで

内 容

1.
 - ・ ITSの概念、全体像についての講義
 - ・ ITS関連技術（信号制御、ETC、VICS、AHS、道路施設管制システム、安全運転支援、道路管理、他実例及び今後の展望）についての専門的な講義及び現場視察
2.
 - ・ 日本のITS行政（関係政府機関間の役割と連携、産官学の役割と連携）に関する講義
3.
 - ・ 研修で習得した中から、2-3つの技術・知識を抽出させ、自国への導入計画を作成
 - ・ 上記計画作成のための指導（産学連携）
4.
 - ・ 研修員が帰国後に、研修で学んだ技術/知識、導入計画の内容を、母国の関係者に共有

本邦研修期間

2018/6/24～2018/7/21

担当課題部

社会基盤・平和構築部

所管国内機関

JICA東京（経済環境）

関係省庁

実施年度

2016～2018

主要協力機関

東京大学
+コンサルタントを配置

**特記事項
及び
ホームページ**

研修現場の様子
<https://www.youtube.com/watch?v=9UTZvB99nXM&list=PL5xfaPiPaa0xOZZe6QzwZ5dFYmfiTaR4M&index=4>